

例会報告

第2639回例会報告議事録

日時 令和3年4月13日（火曜日）

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

ゲスト：呂蘇幸様（米山奨学生）

ビジター：なし

S.A.A.: 小池喜之

会長挨拶

木村前会長



今週は村越会長がお休みのため代行させていただきます。

先週の理事会報告です。

今後の例会については4月も現在同様スクール形式で通常開催をいたします。

緊急事態宣言等が出たらまた考えます。

6月8日に予定している創立55周年記念例会は現時点では予定通り夜間に開催します。最終決定は5月中旬にいたします。第11グループの各グループの会長幹事の招待は見送ります。鈴木ガバナー補佐と森市ガバナー補佐幹事の2名は招待する予定です。招待状の準備、家族の参加についても5月中旬頃に決定します。

今年度の社会奉仕事業は我孫子市の観光マップで、6月8日の55周年の記念例会までに設置する予定です。

バナーの作成については現在、デザインの校正待ちの状態です。

姉妹クラブの豊原RCの60周年記念式典が6月12日に開催されます。記念品を送る予定でしたが、お祝い金を1000ドルか10万円の寄付に変更しました。

今年度の社会奉仕事業として地区補助金をいただいている3月末までに申請をするということで、我孫子クラブとしては市内の子ども食堂への支援で提出しました。

米山奨学生 呂蘇幸さんへ米山奨学金を授与

木村前会長



ご挨拶 米山奨学生 呂蘇幸さんより

はじめまして。呂蘇幸（ロ・ソコウ）と申します。呂と呼ばれてもいいし、蘇幸と呼ばれてもいいと思います。

出身は中国、西南の町で雲南省のクンメイという所です。クンメイという所は天気がいいことで有名です。別名で春の町と呼ばれています。花とかお茶の農作物が成長している良い所です。

私の名前の呂は父親の名前で、蘇は母親の名前で、2人で育てて3人で幸せになりたいという意味です。母親は5年前に乳がんで亡くなり、今は父親と2人で生活しています。父はパーキンソン病と

診断され、4月の例会の後、5月、6月は例会は欠席して一度中国に戻って、父親と一緒に生活して、父のパーキンソン病を克服するように頑張っていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

鈴木会員より

呂蘇幸君は私にとってカウンセラーのお仕事をさせていただき5人目の方です。初めての男性で、東京大学の博士課程です。

彼は理工関係の勉強をして、東大の前は北大に2年程、修士でいて、農業に関することを、池井戸潤さんの「下町ロケット」で中心になる教授のもとで勉強したそうです。いろんなご縁があるんだなと思いました。

趣味は山登り、読書、ギターだそうです。お母さんが5年前に亡くなられて、お父さんがパーキンソン病でいてもたってもいられず4月の後半から2ヶ月ほど帰ってお父さんのサポートをするそうです。一人っ子政策の時の中心なので兄弟はいません。

ロータリーで2年間一緒に過ごすわけですが、呂君と共にロータリースピリットを勉強していきたいと思います。食事や何かの時には呂君を招くようお願いできたらと思っています。よろしくお願いいたします。

フォンちゃんが学友会の受付をがんばっていました。学友会は卒業後に後輩のサポートをしたり、ロータリアンとのつながりを持つようにしたりする会です。

親睦委員会報告

柳田委員長

久しぶりの出席の、8月24日生まれの寺井会員、お誕生日おめでとうございます。

今年度は親睦活動を何もやっていないので我孫子クラブの中でゴルフをする提案をいただいています。今後、会長幹事と相談しながらゴルフを開催したいと考えています。



寺井会員より

8月が誕生日でお祝いを今いただくということで、大変申し訳なく思っています。ありがとうございます。

仕事が介護で、老人と直接ではなくても間接的に接することが多いので、大勢が集まる場所には極力出ないように心がけています。今後また流行りだすと身動きが取りづらくなるのですが、なるべく元気な姿を見せられるように出席したいと思っています。すみません。今日はありがとうございます。

出席委員会報告

石原会員(代理)

23名(出席免除者含む)出席(全員で32名) 出席率71.87%

業務による欠席者：村越会長、齋藤会員、佐藤会員、塩毛会員、関根会員、日暮会員、福武会員、前田会員、湯下会員

ZOOMでの出席：小野会員、古谷野会員

社会奉仕委員会報告

藤本会員



4月6日(火)にガバナー事務所において第3回の奉仕委員会が開催され、地区協で発表する各委員会からの発表についての確認、打ち合わせをしました。

4月10日(土)も同じくガバナー事務所で各クラブの補助金申請について奉仕委員会での選考会を行いました。26クラブの申請に対して選考しました。子ども食堂への支援は我孫子クラブも含めて5クラブありました。5クラブの中で我孫子クラブは非常にオリジナリティがあるという評価がありました。我孫子クラブは子ども食堂への支援だけでなく、参加者のレクリエーションや地元農家の方への支援もあったので、20点評価のうち18点でした。4月17日に財団の奉仕委員会との合同選考会があります。

幹事報告

倉持幹事



・来週20日(火)の例会は23日(金)の第11グループ合同例会に振替となりますので、よろしくお願いいたします。



先月3月に3日間お休みをいただきまして貴重な経験をしましたのでお話をさせていただきます。

昨年末に裁判員制度の名簿に選ばれたという封書が届き、年明けに裁判所に来て下さいという千葉地裁からの茶封筒が届きました。最初に子どもが封筒を取りまして、「お父さん何したの?」と子と妻に言われました。

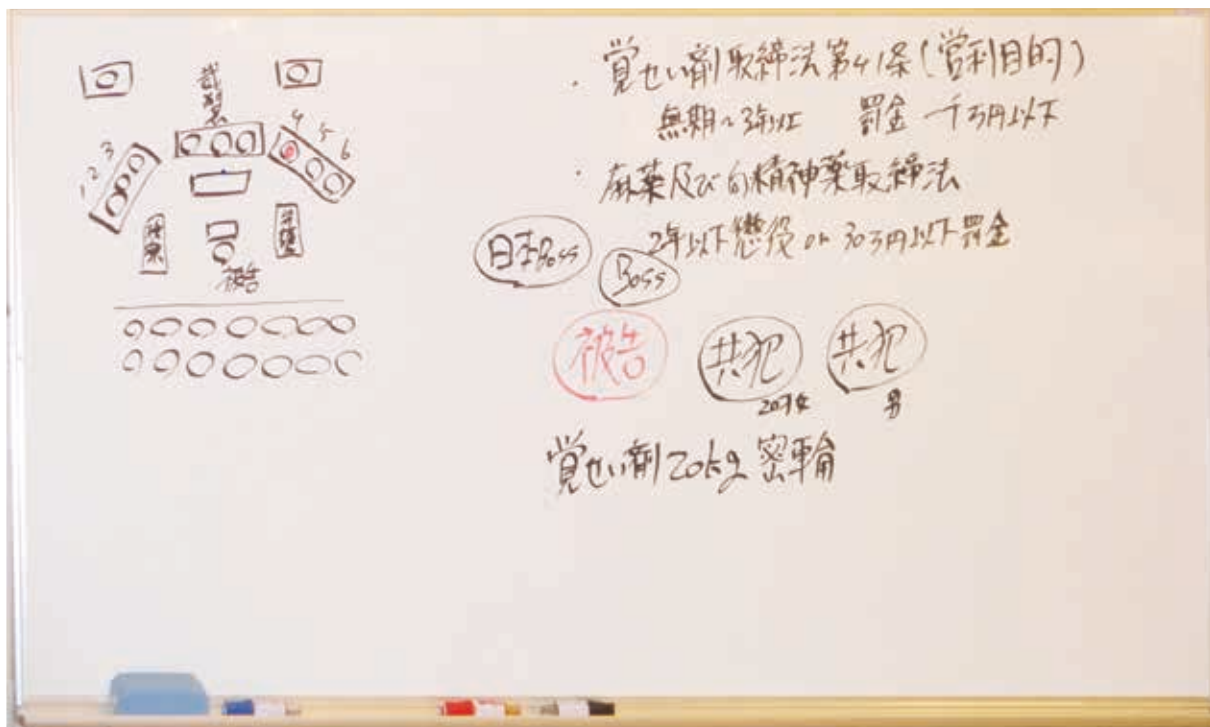
自分の病気や介護以外の理由では断れないとのことでした。70人位から抽選するのですが、裁判員に選ばれてしまいました。病気で出られないか、犯罪歴はないか、担当する裁判の被告人の関係者ではないか、等のアンケートに答えた後、裁判官が3人、検察官が2人、弁護人の弁護士が2人の7人で別室で抽選を行い、裁判員が6人、補助員が2人の8名が選ばれます。補助員も一緒に裁判を聞くのですが、裁判員が来れなくなった場合に代役をするそうです。

今回、私が担当したのは、覚せい剤の密輸したということで香港の人が捕まっていた事件でした。裁判が5日、評議が3日、判決が1日で、9日間かかりました。

今回、被告人は無罪を主張していました。

裁判員は20代、30代、40代、50代、60代、そして女性が1人の6名でした。

わからないことだらけですが、出された証拠を見て判断しようと思いました。人の人生に関わることなので大変だなあと思いながら、しっかり聞こうと思い裁判に当たりました。



裁判は最初に検察が事件の罪名を話し、その後弁護側が弁護の論説をします。その後証人が今回は3名、税関の職員、警察官、共犯者が来ました。証拠の麻薬20キロを持って来て、裁判員が実際に見ました。末端価格で6億5千万くらいとのことでした。20キロなので手持ちの荷物では持ってこられず、ナイジェリアから送られたものを被告が日本で受け取ったということなのですが、被告人は否認していて中身も知らないが無罪を主張していました。入国していた時に、被告人は携帯を3台持っていたり入国理由が明確でなかったそうで尾行したところ、日本のアパートを発見したそうです。1回目の来日時被告はすぐ帰国したそうなのですが、その後、そのアパートで異臭騒ぎがあり、腐った魚とラップのロールを切ったものの中に覚せい剤があったそうです。2回目にその被告が入国した時もマークをして、CCD(クリーン・コントロール・デリバリー)捜査という、税関で入って来た荷物を開けて覚せい剤を抜いて、リモコンのようなものを入れて被告のアパートに送りました。受け取った被告は成田に向かったのですが、その間にもう1人の共犯者が荷物を開けて、張り込んでいた捜査官が共犯者を逮捕したとのこと。被告は成田空港で別の共犯者と一緒に捕まったそうです。

検察が証拠を出すのですが、写真に首から下しか写ってなかったり、サインの筆跡鑑定もしていなかったり、捜査が雑で証拠が立件できていなかったのも、弁護側は無罪を主張していました。

共犯者は別の裁判を行っていて、参考人で連れてこられていました。自分の裁判に影響があるので話したくないと初めは言っていたのですが、彼の裁判には影響しない免責処分になるということになり、いろいろ話し出し、今回の全貌がわかってきました。

今、短期の仕事、香港から日本に1週間行って受け取って、だいたい5万香港ドル(70万円位)、1ヶ月行って7万香港ドル、仕分けの仕事は2万香港ドルもらえるそうです。ボスがいる組織的な犯罪だそうです。

被告が最後に証人審問を受けるのですが、「知らない」「わからない」と不誠実な回答しかせず、裁判員はモヤモヤしました。黙秘権を与えられているから、そう答えるそうです。

裁判が終わり、3日かけて有罪か無罪かを話し合います。共犯者のLINEの通話記録が出て来て、犯行の事実はほぼ明らかでした。9人の多数決で有罪と決まりました。1日かけて量刑を決めるのですが、多数決で懲役18年、罰金は700万円に決めました。被告はお金をもっていない人で払えないので、1日2万円で計算して、懲役18年プラス1年で19年になりました。営利目的の覚せい剤密輸で、刑が重いと思ったのですが、20キロという非常に多い量だったのでそうなったようです。

荷物を開けて捕まった共犯者は執行猶予ですぐ香港に帰りました。なぜかという、開けた箱には覚せい剤が入っていなかったからです。同じような仕事をして片や18年、片や執行猶予で帰れる、ということになりました。

裁判の裏方に入って全部見させていただいたのですが、なるべく公平になるようにしていました。裁判員も公平になるように選び、裁判官も経験20年位のベテランの人、10年位の人、2年位の人、となっていました。

実際に裁判員になって、裁判員裁判でなかったら証拠不十分で無罪になっていたかもしれないと思いました。

非常にいい経験ができました。裁判員は今、13,000人に1人しか当たらないそうです。皆さんもし当たったら是非やられるといいと思います。皆さんの従業員の方が当たったら、労働基準法で裁判休暇というものがあるそうですので、お休みを出してあげてください。日当は1万円でした。

閉会の言葉

村越会長

例会を閉会いたします。点鐘します。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
荒井会員	依田会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
石原会員	依田会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
今井会員	依田会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
梶会員	依田会員 卓話ありがとうございます。	1,000円
上村英生会員	依田会員 貴重な体験のお話ありがとうございます。	1,000円
上村文明会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
木村会員	依田会員 卓話 有難うございました。 貴重な経験談 有難うございます。	1,000円
小池会員	依田会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
三枝会員	お誕生日プレゼントありがとうございました。	1,000円
鈴木会員	呂君ようこそ!!依田さん卓話感謝!!	1,000円
瀧日会員	依田さん、貴重な体験談を有難うございました。	1,000円
寺井会員	勉強になります。	1,000円
服部会員	依田会員 裁判員ご苦労さまでした。	1,000円
藤本会員	依田会員なかなか伺うことが出来ない 卓話ありがとうございました。	1,000円
米田会員	依田会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
		当日計 15,000円
		今期累計 461,000円

今週の表紙「龍泉寺」千葉県我孫子市中峠1423番地

度重なる火災で由緒は不明ですが、延暦年間（782～806年）に弘法大師が手賀沼の畔に草庵を結んで波切不動尊を安置したのが始まりとされています。真言宗のお寺です。新四国相馬霊場76番礼所が境内にあります。明治22年（1889年）には湖北小学校の前身、湖北尋常小学校が龍泉寺に開設されました。現在は湖北保育園が併設されています。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。